

地域農業の10年後の将来像を描く地域計画のブラッシュアップについて

○ 地域計画の策定状況

地域計画は、地域の話し合いにより、地域農業の10年後の将来を描くもの。令和7年3月末までに県内の全35市町村全368地区において策定が完了。

○ 地域計画の分析・検証

- 将来の受け手が位置付けられていない農地（白地）が多い（県内平均で約3割）。
- 白地は少ないものの、十分な話し合いをせずに現在の耕作者を将来の受け手に位置付けている地区がある。

【市町村別の白地割合】

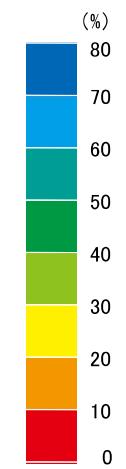
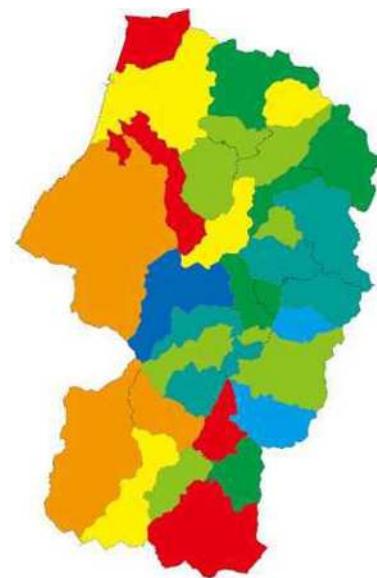
**地域計画の
ブラッシュ
アップが必要**

【受け手の位置付けイメージ】

| 【現況地図】 | | | 【目標地図】 | | |
|--------|---|---|--------|---|---|
| B | E | A | B | B | A |
| E | E | E | C | D | D |
| C | D | D | C | D | D |

離農したい農家の意向を把握

地域での話し合いにより、離農農家の農地の引き受け手を決定



山形県のサポート体制

山形県農地集積・集約化プロジェクト会議を改組して、山形県地域計画実現促進会議を設置

○ 支援体制のイメージ

県地域計画実現促進会議

目的

- 地域計画の取組みに対する支援方策を検討・実行
- 地域計画を周知し、地域の取組みを促進
- 地域の優良・先進事例等の情報を横展開



支援 ▼ ▲ 活動報告

地域計画実行支援チーム



支援 ▼ ▲ 活動報告

個別課題解決支援チーム



連携